

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 21日		～ 令和 7年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	7年 2月21日		～ 令和7年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 室内はバリアフリー化されており、子どもたちが安全に過ごせる環境が整えられている。 パーティションを活用し、子どもたちに合わせた環境を提供している。 生活空間の消毒を徹底し、清潔で快適な環境を維持している。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用定員に対し適切な環境整備を行い、発達支援のためのスペースを確保。 生活空間の構造化を意識し、子どもたちが分かりやすい環境作りを実施。 毎日、子どもが触れる場所や生活スペースを消毒し、感染症対策を徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童を対象にしたアセスメントシートの修正を進め、より適切な支援計画を策定。 職員の意見を定期的に収集し、より良い支援の提供につなげる。 清潔で快適な環境を維持し、事業所の運営改善に活用。
2	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動においてチャレンジタイムを設け、子どもの発達を促す工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動終了後、振り返りを設け、職員間で共有し、計画に沿った支援を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の成長を見据えた新たなプログラムの導入を検討し、個々の発達支援を強化。
3	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修に積極的に参加したり法人内の職員が講師となり研修を行うなど、職員の資質向上に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での研修に参加し、外部研修にも積極的に参加することで支援の質の向上を目指す。 さらに支援の質向上のために、より多くの研修機会を設ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の場を開催し、職員の意見を定期的に収集し、より良い支援の提供につなげる。 職員のスキル向上のため、研修内容の充実を図るとともに、新しい支援手法の導入を検討。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 児童ごとの細かなニーズに対応するための個別支援計画の見直しが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童ごとの支援計画が最新のニーズに合っているかを定期的に見直ししながら子ども達の様子を把握、職員間で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童ごとのアセスメントをより詳細に実施し、計画を柔軟に見直せる体制を構築。 職員の意見を定期的に収集し、より良い支援の提供につなげる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からのフィードバックを活用する仕組みが十分に確立される機能が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や職員間の面談の場が少なく、意見を反映する機会が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との面談を定期的実施、LINEやSNSを用いて保護者の意見を受け入れたり事業所側から発信したり等、運営に反映。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ

公表日 令和7年3月4日

利用児童数 18名(きょうだい児含む)

回収数 16名/17名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0	研究所スペースを確保して頂いてありがとうございます。	スペースを確保することで集中力を高めたり安心して活動できる空間を提供している
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15	0	0	1	迎えの玄関先だけで、利用部屋をじっくり見た事が無いです。	いつでも活動状況を見ていただくようにする
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0		
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	5	5	個人的に参加しているため、交流する機会があります。	図書館へ出かける等しているが他の子どもと交流するという状況にはまだ至っていない。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	6		家族も参加していただける研修会は、随時、チラシの配布や紹介等、情報提供している
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	1	1		必要に応じて相談支援事業所と連携をとりながら支援している
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	4	5		事業所主催の地域でコンサートを企画した。きょうだい同士、家族へ招待している
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	3	0	3		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	5		マニュアルを作成し、マニュアルに基づき発生を想定した訓練を実施している。引き続き、家族へ周知・説明していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	3		月に1回、避難訓練を実施している
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

公表日

令和 7年 3月 4日

事業所名	放課後等デイサービス事業所 きっずるーむごごみ		公表日		令和 7年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	パーティションで空間を仕切り、それぞれに合わせた環境を提供している。	活動の状況をみながら過ごしやすい環境を整え、提供する。集中力を高めたり、安心して活動できる空間を提供する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	室内は、バリアフリーになっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日、利用児の触れるところや生活スペースは消毒を徹底している	引き続き、生活スペースの消毒、定時の換気等を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	フロアに衝立を置いて個別の空間を作っている	利用児の人数や活動内容に応じて、パーティションの配置を柔軟に変更することでより効果的にスペースを利用
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		今後、実施予定。業務改善に繋げていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・事業所内で研修を行ったり外部研修にも積極的に参加できる ・法人内の職員が講師となり研修を受ける機会があった。	・引き続き、事業所内で研修を行ったり外部研修に参加する ・引き続き、法人内の職員が講師となり研修を受ける機会を設ける
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	日々の活動においてもチャレンジタイムを設定し、5領域のどこを特に狙っているかをカレンダーにて呈示している。	引き続き、チャレンジタイムを設定し、5領域についても狙いを提示する。季節に応じた活動や興味ある活動を提供する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	今年度児童を対象にしたフェイス、アセスメントシートの修正を行った。	利用児の状況に合わせたツールを提供していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		相談員を通して情報収集している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		ボランティアを随時受け入れていき、機会を設けていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		情報交換会へ定期的に参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		外部の情報があれば家族へ案内し、周知していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じ、相談員や関係機関との連携を行っている	引き続き、相談員や関係機関との連携を行う

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者参加が可能なイベントの提供を行っている	引き続き、保護者参加が可能なイベントや保護者同士で交流する機会を設ける。地域の他の子供達と交流できるイベントを開催することで保護者や利用児同士の繋がりを深めることができる
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	ホームページを定期的に更新し、活動の様子を発信。保護者にはLINE登録をして頂くことで、感染症や災害に対する情報を素早く送信できるようになった	引き続き、ホームページを定期的に更新し、活動の様子を発信し、感染症や災害に対する情報を素早く送信する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	コンビニでの職業体験や、コンビニスタッフを招いての節分、相撲大会など、交流、公開できるイベントの設定を行っている。	引き続き、コンビニへ買い物に出掛けたりコンビニスタッフを招いてイベントの設定を実施する等、地域資源の活用をしていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		